

ここしかない動物

日本では天王寺動物園にしかないキーウィをご紹介します。夜行性動物舎で見ることができます。丸っこい体に長くちばし、そのくちばしの先に鼻がついています。鳥でありながらつばさは退化しており外からはなかなか特定することは難しいです。

夜に活動が活発になるキーウィをご覧いただくために夜行性動物舎の中を暗くし、展示室をぎりぎりの光量で照らしています。夜行性だから光は不要と思われるかもしれませんが、自然界では昼は日光を浴び夜に活発になります。そのため、皆様にはご覧いただく機会はほぼありませんが、夜は逆に電気をつけて明るい環境にしています。

夜行性動物舎内は暗いですが、10分ほどいれば目が慣れてきますので、ぜひ一度ご覧ください。



ジュン ♂

▲ 外に出た時のジュン。体全体がよく見えます。



プクヌイ ♀

◀ 展示室を明るくした時に撮影したメスのプクヌイ。

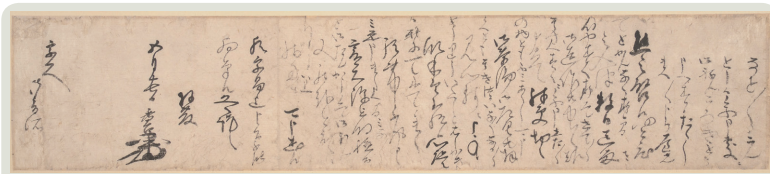


▲ 食べようとするオスのジュン。開園中の様子です。



大阪城
天守閣

秀吉、遠征のあい間に茶を一服。そして得意の軽口。



羽柴秀吉書状 (天正9年)5月17日付 宗久宛

※令和2年10月8日(木)まで、大阪城天守閣4階展示室にて公開しています。

羽柴(豊臣)秀吉が織田信長に仕えていたころ、堺の茶人、今井宗久(そうきゅう)にあてて出した手紙です。天正9年(1581)当時、秀吉は中国地方の攻略に忙しい日々を送っていましたが、そのあい間に堺を訪れ、宗久のもてなしを受けました。この手紙はそのお礼状です。本文は祐筆(書記官)の字で、行間の追伸は秀吉の直筆です。秀吉はここに「(私の字は)読み取りにくいでしょうから皆さんで話し合っ

て解説してください」と書きこみました。これは秀吉がよく使った軽口で、同じような言い回しを用いた手紙がほかにもあります。

住所 〒540-0002 大阪市中央区大阪城1番1号

TEL 06-6941-3044 FAX 06-6941-2197 ホームページ <https://www.osakacastle.net/>

アクセス Osaka Metro「谷町四丁目」1-B・9号出口、「森ノ宮」3-B・1号出口、「大阪ビジネスパーク」1号出口、「天満橋」3号出口

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://ocm.osaka>

大阪歴史博物館 大阪城天守閣 大阪市立自然史博物館 大阪市立美術館 大阪市立東洋陶磁美術館 大阪市文化財協会

大阪市立科学館 天王寺動物園 大阪中之島美術館準備室 大阪くらしの今昔館